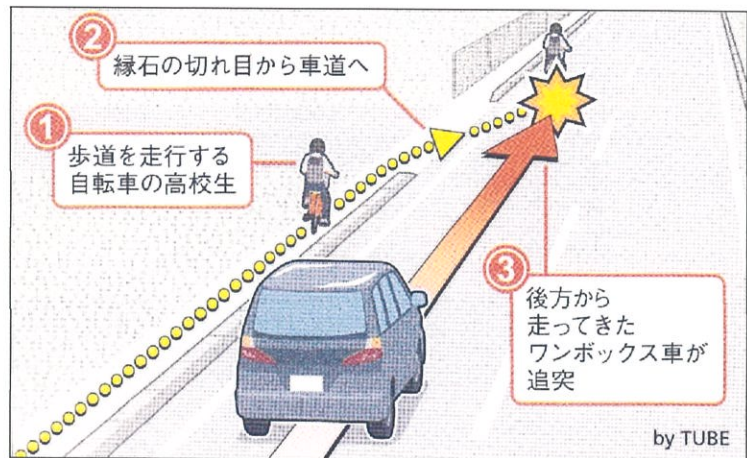


自転車事故の割合が高いのは シニアよりも小中高生！

自転車事故の割合が高いのはシニアではなく小中高生！小中高生の事故原因の7割が法令違反で全体に比べると高い傾向にある。(交通事故総合分析センターの統計から)

◆高校生の自転車危険走行例

自転車の高校生は重傷。歩道を走っていた自転車が突然縁石の切れ目から車道の左寄りに合流、車道を走る車の存在や動きを無視した合流で事故に至った。



◆中学生の自転車事故例

歩道で中学生が乗る自転車が88歳の女性にぶつかり女性は頭の骨を折るなどして意識不明の重体、その後意識は回復。中学生は「遠くを見ていて歩行者に気づかなかった」と言っている。(中1男子)

◆小学生の自転車事故例

小学1～2年生の交通事故は歩行中のものが多く、小学3年生からは自転車に乗車中の事故が多くなる。学年が上がるほど自転車事故割合が高くなる傾向。

- ・左右の確認をせずに交差点に飛び出し、車と接触した。(小2男子)
- ・自転車が突然パンクし、制御不能になって転倒した。(小3女子)
- ・自転車で傘を引っ掛けて走行中、傘が車輪に挟まって転倒した。(小5男子)
- ・坂道を下っていたら、侵入防止の石柱に激突、腕を骨折した。(小6男子)

◆子どもの自転車購入の注意点

親子で相談して太いタイヤや大きなサイズの自転車は選ばず、お子さんの体格に合ったものをぜひ購入してください。

(JAF、警視庁事故発生状況の統計などを参考にして作成)

世田谷区「区民交通障害保険」の創設

世田谷区は平成30年7月から、自身のけがと自転車賠償金の両方が補償される区民交通傷害保険を設けました。区内在住・在勤・在学者が年齢制限なしで加入できます。本年も5・6月頃に募集される予定です。

地域防災セミナー特集

「防災・女性の視点、子どもの視点」～備えと知恵、心配りと思いやり～

講師：国土館大学 防災・救急救助総合研究所 専任講師 月ヶ瀬 恭子氏
2018年12月9日(日)10:00～12:00 会場：若林区民集会所

プロフィール

東京都出身。国土館大学大学院修了。救急救命士、防災士
AEDインсталेशनコンサルタント、子ども安全管理士、ライフ
コーチ、ハンドコミュニケーション療法士認定講師。二児の母。

2014年国土館大学勤務から本格的に防災教育に取り組む。
大学の講義・研究に加え、学校、地域などでの講演増加中。



講演のポイント 知っておきたい防災ノウハウ

〈常に持ち歩くべきもの〉

災害用トイレ (3回分) 携帯電話 モバイルバッテリー ホイッスル ポケットブルザック
ビニール袋2枚 タオルハンカチ 除菌ウェットティッシュ LEDヘッドライト マルチツール

〈薬対策〉

持病用の薬を持つことは大事。加えて命を救う**お薬手帳** (スマホのお薬手帳アプリの活用も)。
似ている薬がたくさんあるので携帯で写真を撮っておくのもおすすめです。

〈乳児への備え〉

粉ミルク授乳は持物が増える、コップで飲ませる方法も。**日本でも液体ミルク販売予定。**

〈女性の視点〉

災害時は「食う・寝る・出す」は悩ましい問題となることが多い。排泄は待たなし。
簡易トイレを十分に備えたい。女性は男性より1.5倍多く使うのでトイレトーパー
はしっかり備えてほしい。**おむつ活用**も有効。

〈トイレ問題〉

特に、**集合住宅では水洗トイレなどの水を流さないことが大事。**配管が傷ついている状態で
流すと修理する時、地震保険の適用外になってしまう。

〈連絡手段〉

- ・ 遠方の親戚や知人を中継地点にして連絡を取る方法が**三角連絡法**。被災地から被災地
外への電話は比較的つながりやすい。中継地点となる人を何人か決めておくとうよい。
- ・ 「OOOOOJAPAN」 (ファイブゼロジャパン) は2011年の東日本大震災での教訓
から大規模災害が発生後72時間以内に開設される契約会社の壁を外しパス
ワード等なしでアクセスできるWi-Fi (無料公衆無線LAN)。



〈その他〉

- ・ 家の中に安全な場所を決めておき、その場所に行くこと。
- ・ 被災地では、防犯上の理由から、**女性は夜一人で行動しないこと。**

(参加者の感想から)

- ・ 家族と連絡手段を決めるとともに、職場でも職員にフィードバックしたいと思います。
また、液体ミルクの販売が開始されればぜひ備蓄しておきたい。(保育園勤務50代女性)
- ・ 災害の時は食べなくとも出すことが一番の心配でした。おしめの利用のことを聞き本当に
安心しました。これなら揃えておけると思いました。(60代女性)
- ・ 災害時の連絡手段を再確認したい。簡易トイレや紙おむつなども用意したい。
息子が本棚の前に寝ているので倒れても大丈夫なように考えたい。(50代女性)

若林地区身近なまちづくり推進協議会は若林まちづくりセンター管内の住民委員で構成された協議会です。
安全安心部会は主に防災・防犯・交通安全など地域の安全安心まちづくりを推進しています。この通信は
三軒茶屋・若林地域に掲示・回覧・配布しています。世田谷区のホームページからも見るすることができます。

太田みね子 小泉一哉 米屋治幸 鈴木新 高木史雄 月村雅一 廣瀬稔教 藤原道恵 安原正紀 (メンバーアイウエオ順)